

言いたい

14衆院選

熊本県水俣市の山間部に位置する久木野地区で、1999年から地域振興に取り組んでいます。「日本の棚田百選」に選ばれた寒川棚田周辺で様々なイベントの企画・運営をしています。たいまつで棚田をライトアップしたり、棚田の石垣組みや植林の体験会を開いたり、徐々にではありませんが、都市部との交流人口も増えています。

人口減少や少子高齢化の悩みを抱える中山間地域は全国

地方創生 住民主体で



熊本県水俣市久木野ふるさとセンター・愛林館長

沢畑亨さん 53

さわはた・とおる 栃木県生まれ。東大大学院修了後、会社勤めなどを経て、94年に水俣市が全国公募した地域おこし施設「愛林館」初代館長に就いた。

に数多くあります。久木野地区もその一つ。住民に古里再生の意欲やアイデアがないわけではありません。「役所向けの文書を作る技術」がないために、自治体や国の補助制度

を受けられず、やる気を形にできていないのが現状です。「各地域が特徴を生かした自律的で持続的な社会を創生する」という「地方創生」の理念には期待感を持っていません。ただ、中央省庁から職員を派遣するということが以外に具体的な手法が見えないのが気がかりです。若手職員を2、3年、地方に滞在させて、単発イベントをやらせて終わり、という安直な手法に落ち着かないかと心配しています。本場に地方を持続的に発展させたいのであれば、住民の思いやアイデアにじっくりと耳を傾けてもらいたい。「引っ張ってやろう」ではなく、後押しさせてもらおう」という精神で実現に導くことが必要です。各党、各候補者の地方再生にかける本気度を投票日までに見極めたいと思っています。(聞き手・大森祐輔)